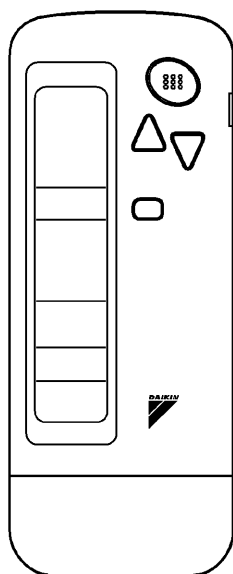
取扱説明書

ワイヤレスリモコンキット

（天井吊形用）

（室内ユニット用ワイヤレスリモコン）

BRC7G3
BRC7G6

●このたびはダイキンエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。

●この取扱説明書はワイヤレスリモコン専用ですので、室内ユニット付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。

（上手に使って上手に節電）

必ず守ってください　安全について

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		

ご使用の前に

リモコンについて

⚠警告

●**分解や改造・修理をしない**
感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない**
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

⚠注意

●**本体やリモコンで遊ばせない**
誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。

禁止

●**リモコンは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の原因になることがあります。
内部の点検調整はお買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**ワイヤレスリモコン使用時は、本体受信部近くに強い光線やインバーターけい光灯を設置しない**
誤作動の原因となることがあります。

禁止

●**ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

●**リモコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●**リモコンは、水のかかるおそれのある場所に設置しない**
水が機器の内部に入ると、感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーをしゃ断する**
電源をしゃ断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

室内ユニット・室外ユニットについて

⚠警告 使用上の注意事項

●長時間冷(温)風を体に直接当てない、冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない

体調悪化・健康障害の原因になります。

●吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない

ファンが高速で回転しており、
けがの原因になります。

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない

ひび割れ・感電・引火の原因になります。

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない

火災や故障の原因になります。

●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、
通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、
お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の
修理が確実に行われたことをサービスマン
に確認のうえ、運転してください。

●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない

針金などを使用すると故障や
火災の原因になります。

●電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない

火災や水もれの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、
けがの原因になります。

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源をしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や
感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する

運転をすると、故障や感電・火災
などの原因になります。

⚠注意 使用上の注意事項

●特しゅ用途には使用しない

精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、特しゅ用途に
使用すると、対象物の性能・品質・
寿命に悪影響をおよぼすことがあります。

●室外ユニットの吹出口を取り外さない

ファンが高速で回転し、
けがの原因になることがあります。

禁止

●長期使用で傷んだままの据付台などを使用しない

傷んだ状態で放置するとユニットの
落下につながり、けがなどの原因に
なることがあります。

禁止

●室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒などにより、
けがの原因になることがあります。

禁止

●吸込口や吹出口をふさがない

能力低下や故障の原因になることが
あります。

禁止

●室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。

●室内・外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない

運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口
のつまりで水が滴下し、家財などをぬらす
原因になることがあります。

●エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因に
なることがあります。

●室内ユニットの真下や近くでほかの暖房器具を使わない

暖房器具の熱により吸込グリル
などが変形することがあります。

⚠注意 使用上の注意事項

●**動植物に直接風を当てない**
動植物に悪影響をおよぼす
原因になることがあります。

禁止

●**吹出口の１ｍ以内にスプレー缶などを置かない**
室内・外ユニットからの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれが
あります。

禁止

●**フィルター交換の際は電動機部に触れない**
電動機部が熱くなっており、
やけどの原因になることがあります。

禁止

●**室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない**
落ち葉などから侵入した小動物が
内部の電気部品に触れると、故障や発煙・
発火の原因になることがあります。

禁止

●**エアコンの操作やお手入れのときは不安定な台に乗らない**
転倒などけがの原因になることが
あります。

禁止

●**室内ユニット・室外ユニットの上に花びんなど、水の入った容器を置かない**
漏電によって感電や火災の
原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●**エアコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の
原因になることがあります。

水ぬれ注意

●**室内・外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する**
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、
樹脂部分が破損したり水もれなどの原因に
なることがあります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると
故障や発煙・発火の原因になることがあります。

●**ときどき換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の
原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、
ご注意ください。

●**高所作業をするときは足場に気をつける**
足場が不安定な場合、落下・転倒により
けがの原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●**据付工事は、自分でしない**
据付けに不備があると、水もれ・
感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店ご依頼ください。

禁止

●**別売品の取付けは、自分でしない（交換用別売品は除きます）別売品は当社指定以外のものは使用しない**
取付けに不備があると、水もれ・
感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはダイキン
コンタクトセンターにご依頼ください。

禁止

●**移動・再設置は、自分でしない**
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**アース工事を行う**
アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・
電話のアース線に接続しないでください。

●**漏電しゃ断器を取り付ける（専門業者へ依頼する）**
感電や火災の原因になります。

●**電源は必ずエアコン専用の電源を使用する**
専用以外の電源を使用すると発熱・
火災・故障の原因になります。

●**冷媒もれ対策は、販売店に相談する**
万一、冷媒がもれて限界濃度を
超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が
もれても限界濃度を超えないように
対策する必要があります。

⚠注意 据付上の注意事項

●**可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない**
万一、ガスがもれてユニットの
周囲に溜まると、発火の原因に
なることがあります。

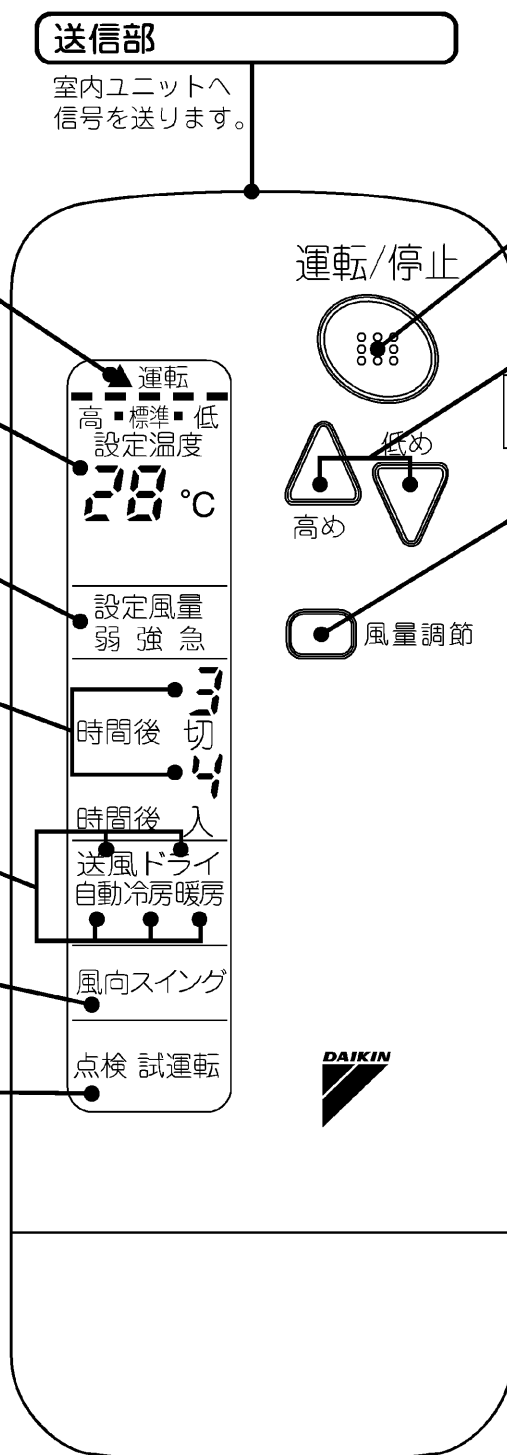
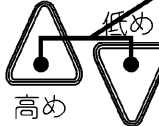
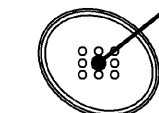
禁止

●**ドレン配管は、確実に排水するように施工する**
不備があると、屋内に水もれし、
汚れや故障の原因になることが
あります。

リモコン各部の名前と働き

運転リモコン

お願い

- **リモコンは直射日光の当たる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。**
- **リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。**

表示部

（上の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。）

運転/停止ボタン

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

温度調節ボタン

温度の設定のときに押します。

風量調節ボタン

このボタンを押すごとに「弱」「強」「急」の3段階の調節ができます。

温度調節/時間設定ボタン

温度の設定およびタイマー時間の設定のときに押します。
タイマー時間の設定については

10,11 ページ参照

タイマー予約/解除ボタン

10,11 ページ参照

タイマ切換　入/切ボタン

10,11 ページ参照

運転切換ボタン

運転モード(「冷房」「暖房」「自動」「送風」「ドライ」)を切り換えるときに押します。

風向調節ボタン

13 ページ参照

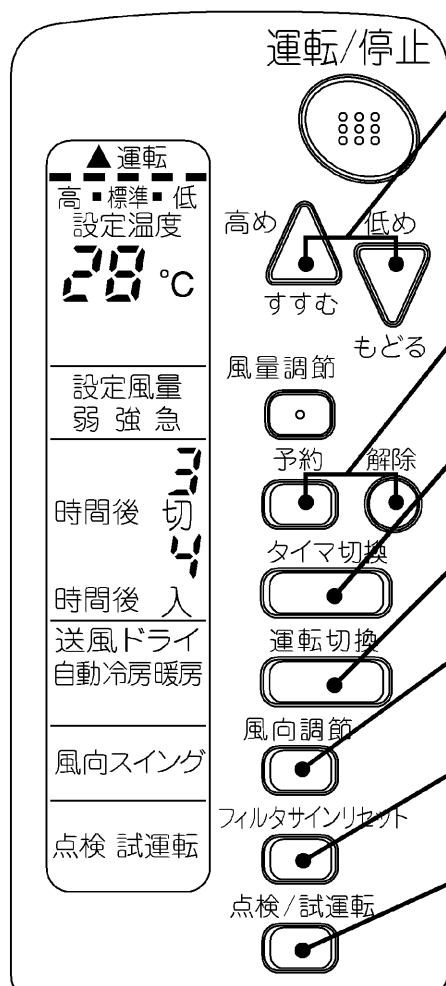
フィルタサインリセットボタン

6 ページ参照

点検/試運転ボタン(サービス用)

点検または試運転時に押します。
● 通常は使用しないでください。

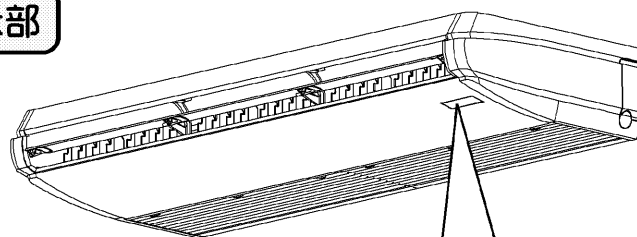
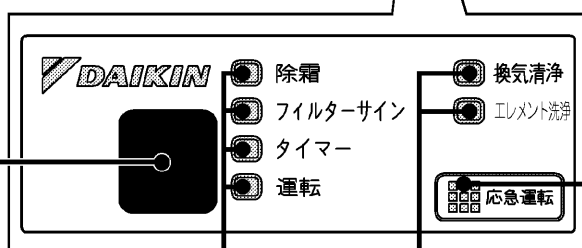
「ピッ ピッ」で受信確認!

室内ユニットがリモコンからの信号を受けると受信音が「ピッ ピッ」となり、受信が確認できます。

操作部

(上の図はふたを開けた状態を示しています。)

各部の名前と働き

室内ユニット

室内ユニット表示部

受信部
リモコンからの信号を受けます。

応急運転ボタン
リモコンが使えないときの運転に使用します。

表示ランプ

- 運転ランプ(赤)
  運転中、点灯します。また、機械異常時点滅します。
- タイマーランプ(緑)
  タイマーセットされているときに点灯します。
- フィルターサインランプ(赤)
  エアフィルターの洗浄時期になると点灯します。
- 除霜ランプ(橙)
  除霜運転中、点灯します。
  (冷房専用タイプの場合は点灯しません。)
  また、電源を入れたときに数分間点滅します。

表示ランプ

- 換気清浄ランプ(緑)
  グループ制御(15ページ参照)している
  空気清浄ユニットまたは全熱交換器ユニット
  「ベンティエール」が運転中、点灯します。
- エレメント洗浄ランプ(赤)
  ストリーマ除菌ユニットの放電エレメントの
  洗浄時期になると点灯します。

フィルターサインランプが点灯したら室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧のうえ、
エアフィルターの清掃をしてください。
エアフィルターを元どおりに入れた後は、リモコンのフィルターサインリセットボタンを押してください。
室内ユニット表示部のフィルターサインランプは消えます。
ストリーマ除菌ユニット(別売品)取付時は、フィルターサインランプ・エレメント洗浄ランプが
点灯したら別売品に付属の取扱説明書をあわせてご覧のうえ、フィルターの清掃・交換・エレメントの
洗浄をしてください。

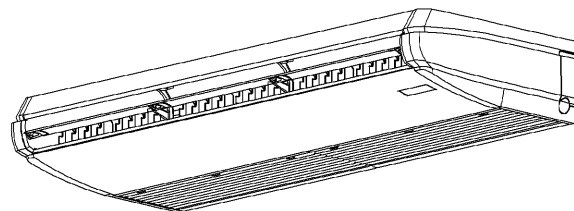
お願い

- **清掃をされる際には安全のため運転/停止ボタンを必ず停止にし、電源をしゃ断してください。**

リモコンの取扱いについて

リモコンの取扱いについてご注意ください

送信部は室内ユニットの受信部に向けて

室内ユニットとリモコンの間にカーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しません。

送信距離は約 9 m

落としたり、水をかけたりしない

故障する原因になることがあります。

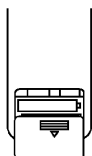
リモコンのボタンを先のとがったもので押さない

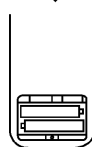
故障する原因になることがあります。

- インバーター蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けない場合があります。新しく蛍光灯をお買上げになる場合は、販売店にご相談ください。
- リモコンでほかの電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

電池の入れかた

①リモコン裏面のふたを矢印の方向へ開けます。

②電池を入れます。アルカリ乾電池LR03(単4)を２個お使いください。

③元どおりふたを閉めます。

＋、－をまちがえないで！

電池交換時期

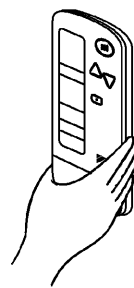
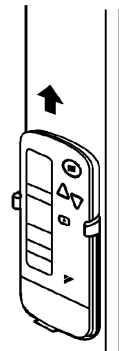
通常のご使用で約１年ですが、
・受信されにくくなる
・リモコン表示部がうすくなる
となりましたら新しい乾電池と交換してください。

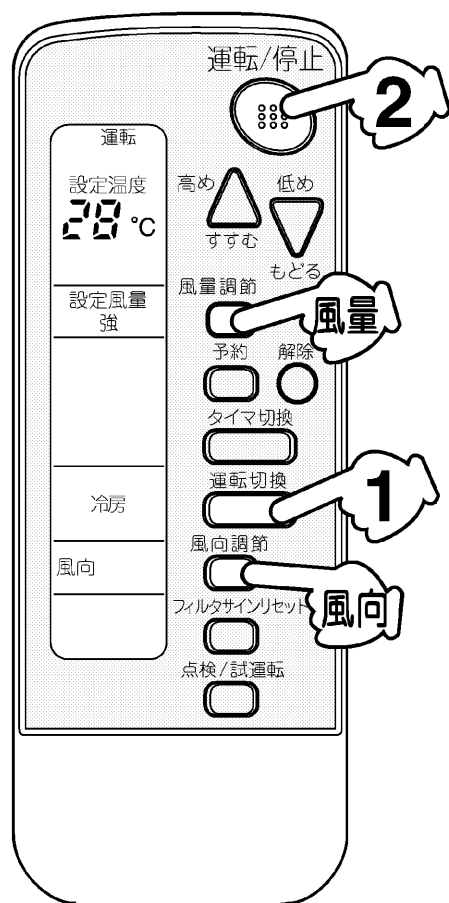
- **電池は、古いものや、種類のちがうものをまぜて使わないでください。**
- **電池の漏液による故障をさけるため、長い間お使いにならないときは電池を全部取り出してください。**

リモコンの取付けかた

リモコンホルダーは付属のネジで、壁・柱などに取り付けます。
(受信することを確認してください。)

（リモコンの取付け）上からスライドさせる。

（リモコンの取外し）上へ引き抜く。

リモコンホルダー

運転のしかた

冷房・暖房・自動・送風運転のしかた

● 上の表示は冷房運転の場合です。

準備	● 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。 ● シーズン中は電源をしゃ断しないでください。 始動を円滑にするためです。

1	**運転切換**を数回押し、 **「冷房」「暖房」「自動」「送風」**のうちご希望の運転に切り換えます。

● 冷房専用タイプの場合は「冷房」と「送風」のみ設定可能です。

2	**運転/停止**を押します。 運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

停止	もう1度**運転/停止**を押します。 運転ランプが消灯し、運転を停止します。

● 暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約1分間送風運転します。

お願い
● 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。
水もれや故障の原因になることがあります。

● 設定変更や運転/停止をした場合、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ることを確認してください。

運転の内容と働き

冷房	暖房	送風
おすすめ設定温度は、26～28℃です。	おすすめ設定温度は、18～23℃です。	室内の空気を循環させます。

自動（冷暖自動）

- 運転中、ある室内温度を境に自動で冷房運転 ←→ 暖房運転が切り換わります。
- 設定温度は変更できますが、運転内容が切り換わると自動で設定温度も変更します。
（室温を一定に保つ運転ではありません。）
「自動冷房」→「自動暖房」時は5℃設定温度が下がります。
「自動暖房」→「自動冷房」時は5℃設定温度が上がります。
- 「自動」運転にすると設定温度に対して体感温度の補正を行うので、年間を通じて快適さを保ちながらさらに省エネ運転ができます。

例 「自動冷房」で27℃にセットされた状態から、室内温度が下がり25℃以下になると「自動暖房」に切り換わります。
その時、設定温度は22℃に変更され、さらに室内温度が下がり22℃以下になったところで暖房運転が始まります。
暖房→冷房の時も同様になります。

冷房·暖房の場合

温度

温度を**設定**します。
△ を押すごとに1℃ずつ上がります。
▽ を押すごとに1℃ずつ下がります。

- 送風運転の場合は設定できません。

風量

風量調節を押し、
「弱」「強」「急」のうちご希望の
運転に切り換えます。

- 機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
- 室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。また、ファンが停止する場合もありますが、異常ではありません。
- 風量の切換完了までに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

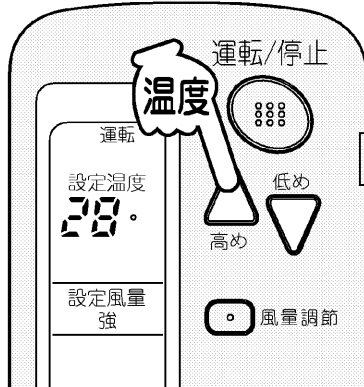
風向

風向調節を押します。
13 ページ参照

自動運転の場合

温度

温度を**設定**します。
△ 「低」から「高」まで5段階で
▽ 温度を設定します。
「高 ▪ 標準 ▪ 低 」が点灯します。

- 送風運転の場合は設定できません。
- 設定変更や運転/停止をした場合、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ることを確認してください。

使用条件

下記以外の条件で運転すると安全装置が働き、運転しないことや室内ユニットから露が落ちる場合があります。

運転モード	タイプ	使用条件(室内ユニット吸込空気)	
		温　度	湿　度
冷房	冷暖房兼用 冷房専用	21～32℃	80%以下
暖房	冷暖房兼用	15～27℃	——

機種によっては、設定可能範囲全域にわたっての設定ができない機種があります。
詳しくは販売店にお問合せください。

暖房運転の特性

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

除霜運転

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が下がるので自動で除霜運転に切り換わります。
- 温風が止まり、室内ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。
- 約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。
  このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。
  (燃焼器具と併用の際は、こまめに換気してください。)
  エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。
  エアコン内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転になります。
  そのままお待ちください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ（室内循環用ファン）のご使用をおすすめします。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

タイマー運転のしかた

● 上の表示は「8時間後 切」の場合です。

1

タイマ切換を押し、

「時間後 切」か**「時間後 入」**

を選びます。
押すごとに表示が、

「表示なし」
「時間後 切」→「時間後 入」
と切り換わります。
「時間後 切」または「時間後 入」が点滅します。

2

時間を**設定**します。
△ を押すごとに1時間ずつ進みます。
▽ を押すごとに1時間ずつ戻ります。

● 押し続けると、設定時間が連続的に変わります。
● 最大72時間先まで設定できます。

3

予約を押します。
これで予約完了です。
「時間後 切」か「時間後 入」が点滅から点灯に変わります。

タイマー運転を取り消したいときは

取り消し

解除を押します。
表示が消えます。

● 室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ることを確認してください。受信音が鳴らない場合は、上記1～3で再度タイマー設定した後、解除を押してください。

運転の内容と働き

ご希望の時間運転後停止させたいときは 時間後	**ご希望の時間経過後運転を開始させたいときは** 時間後
時間を「8」にあわせると ⬇ 「8時間後 切」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を停止します。 （注）運転停止後予約は解除され、表示が消えます。	時間を「8」にあわせると ⬇ 「8時間後 入」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を開始します。 （注）運転開始後予約は解除され、表示が消えます。

「時間後 切」と「時間後 入」を同時に予約したいときは

●下の例を参照して操作してください。

例 3時間後に停止し、その1時間後に運転する場合

↓

「3時間後 切」と「4時間後 入」とを設定します。

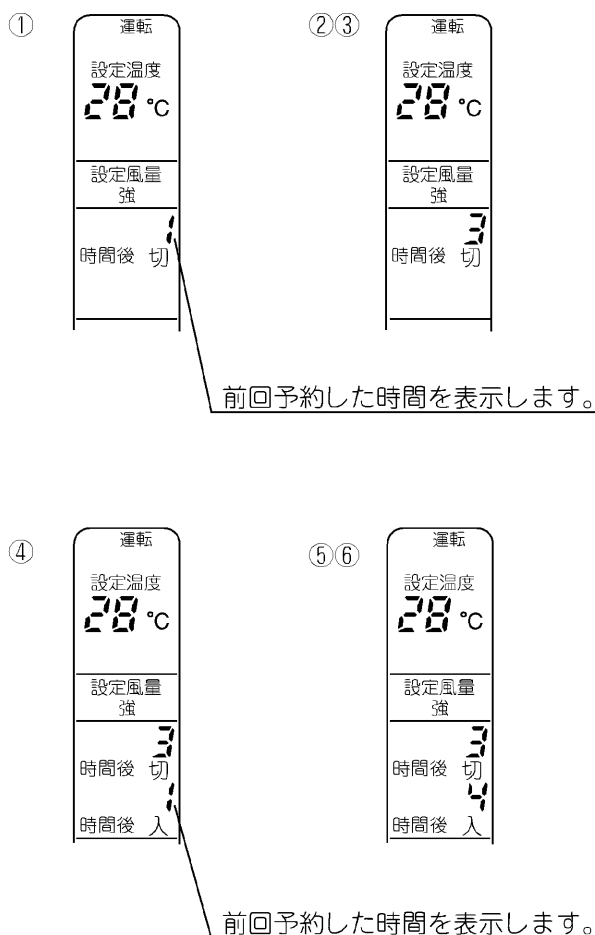
① **タイマ切換**を押し、**「時間後 切」**を選びます。（「時間後 切」が点滅します。）

② 高め△▽低め で時間を「3」に設定します。

③ **予約**を押します。
「3時間後 切」が設定されます。
（「3時間後 切」が点灯に変わります。）

④ 次に**タイマ切換**を押し、**「時間後 入」**を選びます。
（「時間後 入」が点滅します。）

⑤ 高め△▽低め で時間を「4」に設定します。

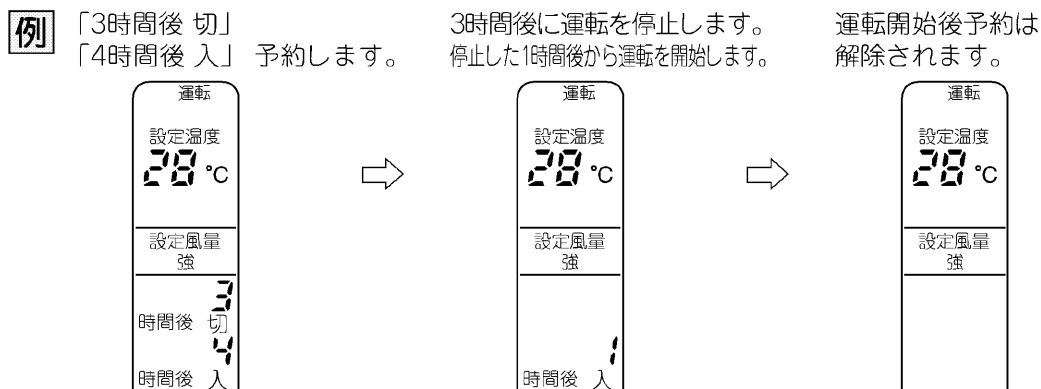
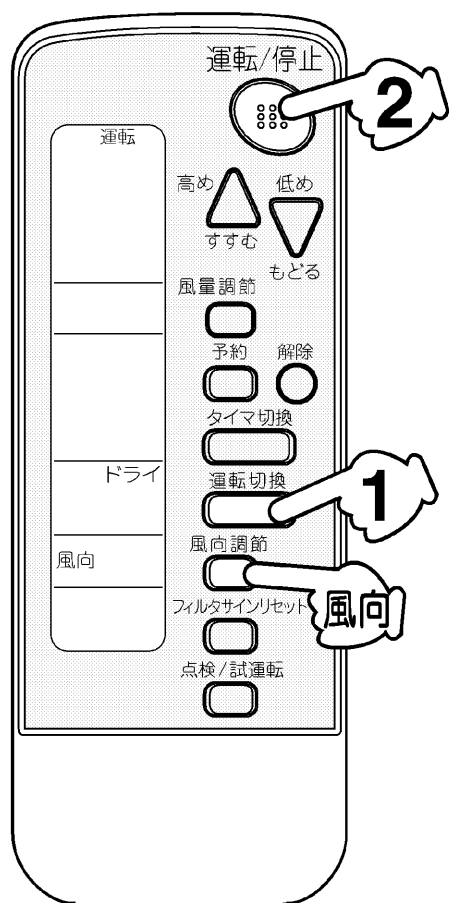
⑥ **予約**を押します。
「4時間後 入」が設定されます。
（「4時間後 入」が点灯に変わります。）
これで同時予約完了です。

「時間後 切」「時間後 入」を同時に予約した場合

● 予約完了したときから同時に残り時間をカウントし、表示します。

例 「3時間後 切」「4時間後 入」 予約します。

3時間後に運転を停止します。停止した1時間後から運転を開始します。

運転開始後予約は解除されます。

運転について

マイコンドライ運転のしかた

準備	●機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。 ●シーズン中は電源をしゃ断しないでください。 始動を円滑にするためです。

1	**運転切換**を数回押し、 **「ドライ」**に切り換えます。

2	**運転/停止**を押します。 運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

●設定変更や運転/停止をした場合、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ることを確認してください。

風向を変えたいときは

風向	**風向調節**を押します。 13 ページ参照

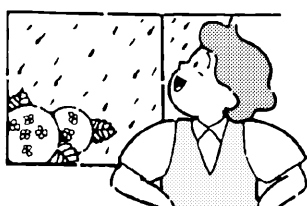
停止	もう1度**運転/停止**を押します。 運転ランプが消灯し、運転を停止します。

●運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。
水もれや故障の原因になることがあります。

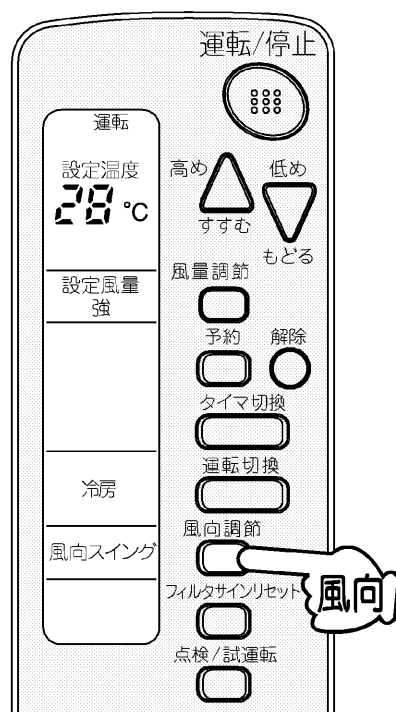
●設定変更や運転/停止をした場合、室内ユニットの受信音が「ピッピッ」と鳴ることを確認してください。

運転の内容と働き

マイコンドライ

●マイコンドライとは、冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返して湿気を取る機能です。

マイコンドライの特性

●湿度と風量はマイコンが自動でコントロールしているため、運転中は温度と風量の設定・変更はできません。
●室温が20℃以下のときは運転できません。
●湿度のコントロールはできません。

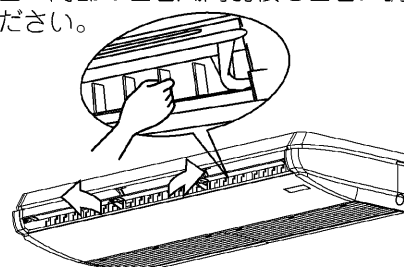
風向調節のしかた

上下風向角度の調節のしかた

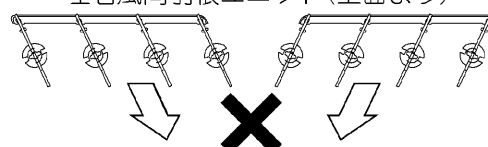
1	**風向調節**を押します。 押すごとに「風向」「風向スイング」が切り換わります。

風向を希望の位置に変えたいときは

2	風向スイングの状態で室内の風向が希望の位置にきたらもう1度 **風向調節**を押します。 しばらくして希望の位置に止まります。

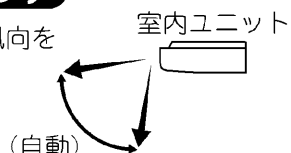
左右風向角度の調節のしかた

吹出口内部の左右風向羽根を左右に調節してください。

- **調節できる位置でいったん風向スイングを停止させてから行ってください。風向スイング中に調節すると、上下風向羽根が手にあたることがあります。**
- **左右風向羽根は4枚ずつのユニットで同じ方向に動きます。となりあうユニットを図のような状態で運転しないでください。露が落ちる原因となります。**

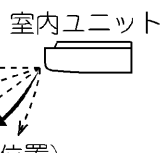
左右風向羽根ユニット（上面より）

運転の内容と働き

風向調節には次の3通りがあります。

上下風向スイング

機械が自動で風向を上下させます。

上下風向設定

0°～60°の間で5段階に風向を固定することができます。
（ルーバーの角度ではありません。）

室内ユニット
（希望位置）

左右風向調節

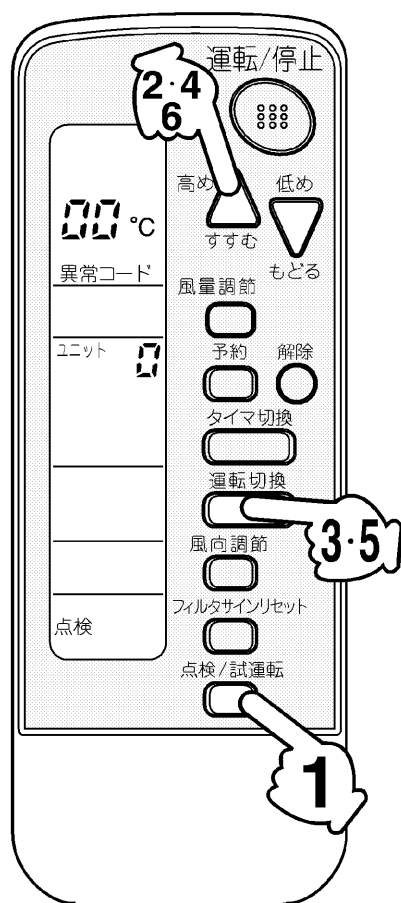
手動により、左右方向のご希望の位置に風向を固定させることができます。

上下風向羽根の動きについて

下記の運転状態のときは自動で風向をコントロールするので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	● 設定温度より室温が高いとき(「暖房」運転の場合) （冷風が直接体に当たらないように、水平吹出しとなります。） ● 除霜運転時(「暖房」運転の場合) （冷風が直接体に当たらないように、水平吹出しとなります。） ● 下吹出しの状態で連続運転した場合(「冷房」・「ドライ」運転の場合) （風向羽根に結露しないように一定の間、水平方向となります。）

運転モードは、「自動」運転の場合も含みます。

故障診断のしかた

復帰	**運転切換**を押します。

1	**点検/試運転**を押し、 **点検**を選びます。

「0」が表示され、点滅します。「ユニット」が点灯。

2	**ユニットNo.**を変更します。 高め 低め すすむ もどる　室内ユニットより受信音が鳴るまで押します。

- 受信音の回数
  - 3回……以下の操作をすべて行ってください。
  - 1回……3·6の操作を行ってください。
  - 連続……異常はありません。

3	**運転切換**を押します。 異常コード左側の「0」が点滅します。

4	**異常コード**を変更します。 高め 低め すすむ もどる　室内ユニットより受信音が2回鳴るまで押します。

5	**運転切換**を押します。 異常コード右側の「0」が点滅します。

6	**異常コード**を変更します。 高め 低め すすむ もどる　室内ユニットより受信音が連続して鳴るまで押します。

- 受信音が連続して鳴ると異常コード確定です。

運転の内容と働き

エアコンが異常停止すると、室内ユニット表示部の運転ランプが点滅します。
上の要領でリモコンを操作し、表示された異常コードをお買上げの販売店にご連絡ください。
異常内容が早くわかり、修理に要する時間が短縮されます。